

行雲流水

No. 3 3 令和3年4月21日発行

「学びの種（たね）」を育てよう

校長 寒河江 正人

保護者の皆様、今年度、学習指導要領が「**全面实施**」となりました。
今、学校（教職員）は、より一層「**意識と行動**」を見直し、高めねばなりません。
その「**主眼**」は、「**主体的な学習者の育成**」の推進であります。

「なぜ?」「これは何?」「もっと知りたい!」「できるようになりたい!」等々。
生徒一人ひとりの内面に生じる「**知的な欲求**」「**興味関心**」といった「**学びの種（たね）**」
は、実に多種多様であります。

私たち「学校（教職員）の務め」は生徒一人ひとりの内面に生じる「**学びの種（たね）**」に
日の光を当て、芽生えさせ、水を与え、肥やしを施し、遅しく育て、花を開かせ、その子
に応じた実を結ばせる（個別最適化した自己実現を可能にする）ことであります。

校長の務めは、その「**学ぶ環境の条件整備**」こそが「**学校経営上の責務**」であります。

現在、門脇明人教諭の指導の下、すべての教科において「**単元（学習のまとまり）ごとの
学習計画・評価計画**」を作成し、生徒に公表しており、年間を通して継続致します。
この単元では「どんな力をつけるのか」「そのためにどんな学習活動と評価をするのか」等、
生徒に「**指導と評価**」の方法を事前に示し、意欲を喚起する「**本校の覚悟**」の表明です。

併せて、奥山渉教務主任からは「**3観点による評価・評定の概要**」をお示しします。
お子さまが、どのような基準で「評価・評定」が算出されるのかをご一読願います。

どちらも明日23日（金）配付の「**PTA 総会・学年総会 資料**」に綴じ込んでありますので、
ご高覧いただき、今後の進展を見守っていただきたいと思いますところでもあります。

なお、「**初の試み**」ゆえ、私たち教職員一人ひとり「**生みの苦しみ**」であります。
しかし、「**主体的な学習者の育成**」の推進のためには「**避けては通れぬ道**」でもあります。
今年度、一年間かけて研修を積み、生徒たちとの対話を重ねながら、より「実効性の高い」
指導方法・評価方法を模索してゆく所存ですので、ご理解とご協力をお願い致します。